

株式についてのご案内	お知らせ	
事業年度 4月1日～翌年3月31日	株式に関する各種お手続きについて	
期末配当金 受領株主確定日 3月31日	●特別口座に記録された株式	
中間配当金 受領株主確定日 9月30日	お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
定時株主総会 毎年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>単元未満株式の買取（買増）請求</li> <li>住所・氏名等のご変更</li> <li>特別口座の残高照会</li> <li>配当金の受領方法の指定（*）</li> </ul>	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社	特別口座 口座管理機関	[手続き書類のご請求方法] ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479（通話料無料） ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社	株主名簿 管理人	
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 TEL 0120-232-711 （通話料無料）	（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選び いただけません。	
上場取引所 東京証券取引所 市場第一部	●証券会社等の口座に記録された株式	
公告掲載URL http://www.taiyo-hd.co.jp （ただし、電子公告によることが できない事故その他やむを得ない 事由が生じた場合は、日本経済 新聞に公告いたします。）	お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
	<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
	●配当金計算書について 同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払 通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の 資料としてご利用いただけます。 なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券 会社へご確認ください。	

# TAIYO HOLDINGS REPORT 2014 INTERIM

## 中間決算のご報告

平成26年4月1日～平成26年9月30日

# 第69期

### 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4626

いいかぶ

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。  
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を贈呈させていただきます。

※本アンケートは、株式会社 a2media（イー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
（株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。  
●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL: info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第69期上半期における世界経済は、米国経済は企業景況と雇用に一段の改善が見られ、欧州経済は緩やかな景気回復がうかがえました。中国経済は政府による財政政策などを背景に製造業の景況感の回復が見られ、日本経済におきましては消費増税後の落ち込みは薄れつつあります。

このような状況のもと、第69期上半期の当社グループの業績は、当初計画より需要が上回ったことおよび為替レートが想定より円安で推移したことなどにより前年同期比で増収・増益となりました。

また、今後についても順調な推移となる見通しのため、10月31日付けで通期連結業績予想を、売上高46,600百万円、営業利益8,700百万円、経常利益8,800百万円、当期純利益5,900百万円に上方修正いたしました。

なお、第69期の中間配当金につきましては、従前の発表どおり1株当たり45円とすることを10月31日に開催した取締役

会で決議しました。また、期末配当金につきましても、中間配当金と同水準を維持できるものと予想しています。

株主の皆様におかれましては今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
佐藤 英志

○当第2四半期連結累計期間の概況

当社グループの関連市場である電子部品業界については、スマートフォンやサーバー、車載関連部材の需要が堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は24,778百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

製商品品目別では、「プリント配線板(以下PWB)用部材」については、リジッド基板用部材や「半導体パッケージ(以下PKG)用部材」の堅調な売上げや為替の影響により販売数量、販売金額ともに前年同期を上回る水準となりました。この結果、PWB用部材の売上高は22,054百万円(前年同期比20.2%増)となりました。

「プラズマディスプレイ・パネル(以下PDP)用部材」を主体とする「フラットパネル・ディスプレイ(以下FPD)用部材」については、販売数量の減少に加え、原料である銀の市場価格が下落したことにより、連動する販売単価も下落し、FPD用部材の売

上高は1,834百万円(前年同期比22.4%減)となりました。

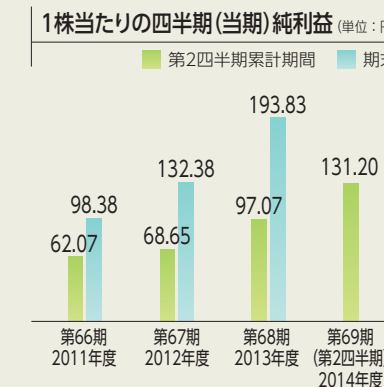
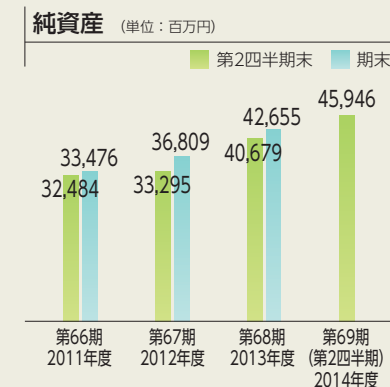
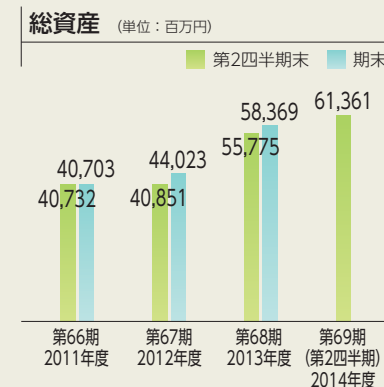
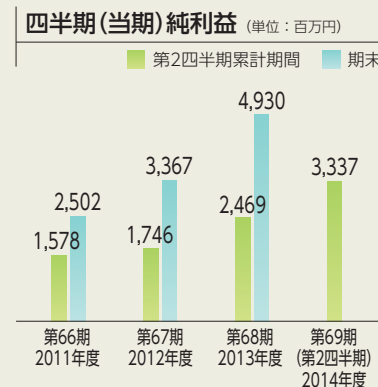
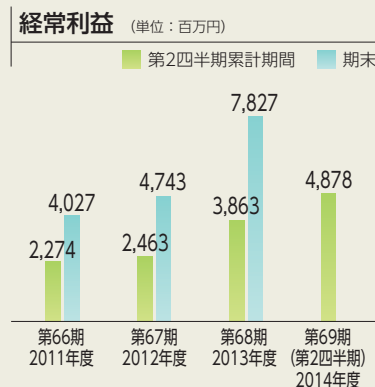
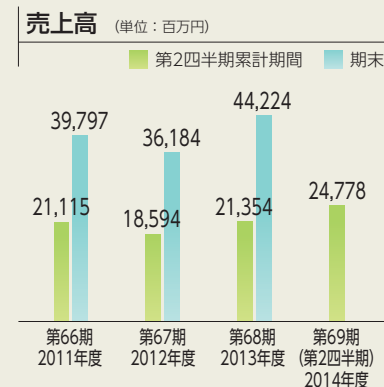
以上の結果、営業利益は4,755百万円(前年同期比25.7%増)、経常利益は4,878百万円(前年同期比26.3%増)、四半期純利益は3,337百万円(前年同期比35.2%増)となりました。

○通期(第69期)の見通し

当初計画より需要が上回ったことおよび為替レートが想定より円安で推移した結果、従来公表しておりました業績予想を上回る見通しとなりましたので、通期連結業績予想を下記の通り修正しました。

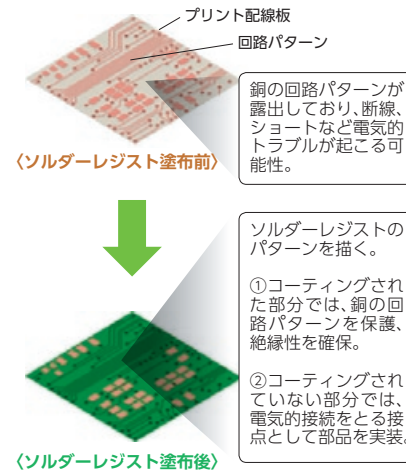
科目	第69期見通し (百万円)	第68期実績 (百万円)	増減率 (%)
売上高	46,600	44,224	5.4
営業利益	8,700	7,568	14.9
経常利益	8,800	7,827	12.4
当期純利益	5,900	4,930	19.7

財務ハイライト(連結)



## ソルダーレジストの役割

携帯電話、パソコンなどのデジタル家電や、車載電子機器などエレクトロニクス製品にはPWBが用いられています。当社グループの主力製品であるソルダーレジスト(以下SR)は、このPWBの導体回路表面を覆うことで保護し、こうした製品がショートするなどのトラブルを防ぎ、長期間の安定した使用を可能にします。



### 1 不要部分へのはんだの付着防止

PWBIに各種の部品が実装される際に、電氣的接続をとる接点以外にはんだが付着しショートを起こすのを防止する役割があります。

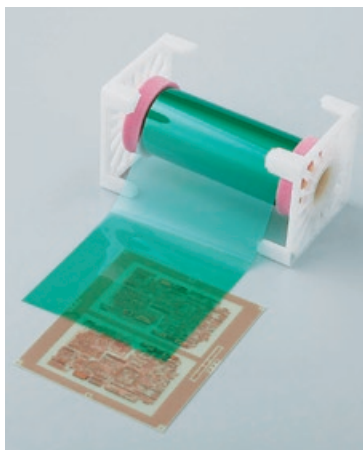
### 2 ほこり、熱、湿気などから回路パターンを保護

ほこり、熱、湿気などの外部環境から回路パターンを保護します。これによって電子機器は長期にわたり安定した動作が可能になります。

### 3 回路パターン間の電気絶縁性の維持

電子機器の小型化に伴い、一般基板の回路パターンは50~150 $\mu$ m程度、パッケージ基板では更に細線化しています。SRは回路パターン間の絶縁性を維持し、ショートを防止します。

## ドライフィルム型ソルダーレジスト



半導体や、高い信頼性が求められる車載用の一部の電子機器に使用されます。汎用型SRよりも細かくパターン形成することが可能で、半導体の発する高温に長時間耐え、品質劣化が起こりにくいことや反りがないなどの特性があります。

また、SRの厚みのバラつきによる半導体の実装への影響をおさえるため、あらかじめフィルム状に加工し厚みを均一にしています。

### 特性

- ・表面平滑性が良い(凸凹が少ない)
- ・含有溶剤が少ないため、顧客での使用環境に優しい
- ・回路間の気泡が少ない
- ・使用時の工程が少ないため生産性が良い
- ・SRの塗布効率が良く、無駄が少ない など

### 主な用途



## 円滑なコミュニケーションを目指して

当社グループでは「スピード&コミュニケーション」の方針のもと、製品開発や顧客対応などあらゆる点で、競合他社に負けないスピードを目指しており、このスピードを高めるために、社員同士の円滑なコミュニケーションが欠かせないと考えています。

この考えに基づき、社内のコミュニケーションを促す施策として、職場環境の見直しを進めています。

現在、研究拠点である嵐山事業所では、食堂をリニューアルするなど、従業員が働きやすい職場づくりを進めています。

### 食堂のリニューアル



地産地消をコンセプトに地元の食材を使用し、テーブル・椅子といったインテリアには埼玉県産の杉やヒノキを採用しました。プロの調理人による出来立ての美味しい食事と、居心地の良い雰囲気です。社員からは非常に好評です。

日替わりでランチやティータイムメニュー、ディナーを用意しており、リラックスできる空間として、また顧客との打合せスペースとしても利用しています。その他にパーティ用の料理で社内懇親会を行うなど、社員の交流の場として活用しています。



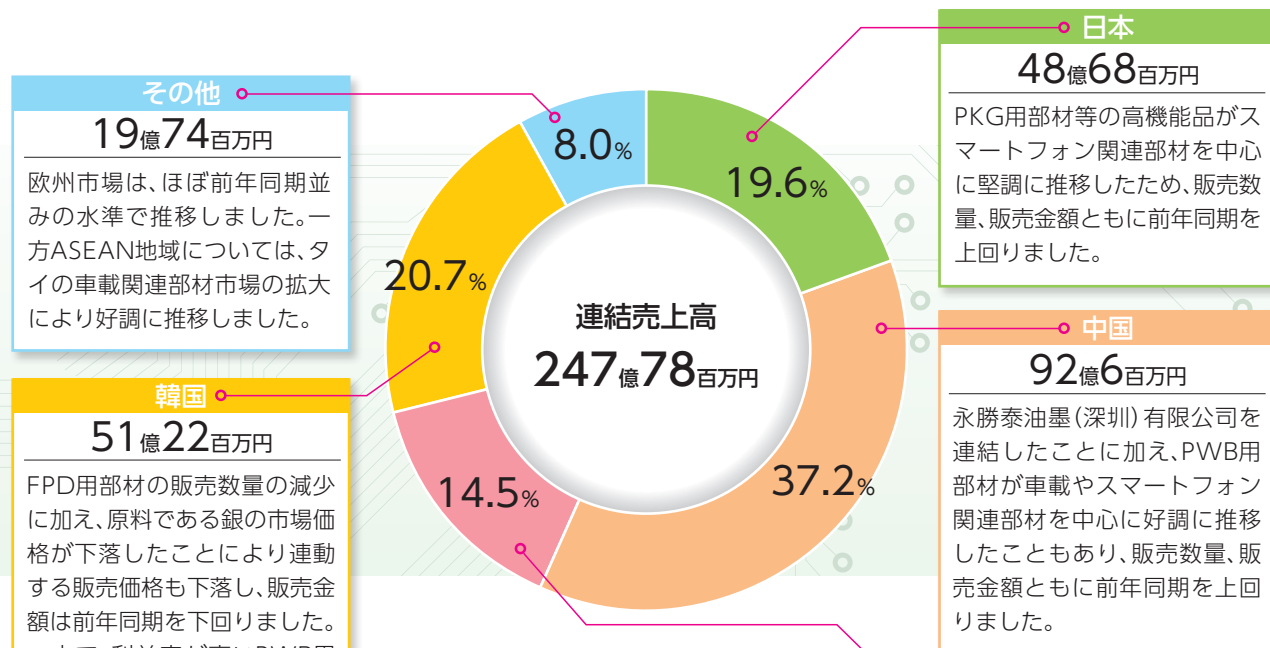
### オフィススペースの改装

部署間で気軽にコミュニケーションが取れることを目的に、仕切りとなる壁を取り払い、ミーティングルームなどはガラス張りにしました。動線が交差する場所にリフレッシュコーナーを配置することで社員の交流を促すとともに、ここで浮かんだアイデアを逃さないよう柱や壁をホワイトボードとして書き込める工夫をしています。また、畳敷きの和室風の会議室をつくるなど、自由な発想を誘発させるようなオフィスづくりを心掛けました。



## セグメント別売上高の概要

Segment Review (sales areas)



**その他 19億74百万円**  
欧州市場は、ほぼ前年同期並みの水準で推移しました。一方ASEAN地域については、タイの車載関連部材市場の拡大により好調に推移しました。

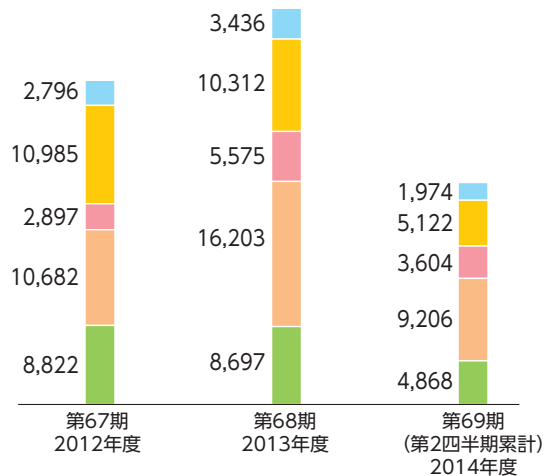
**韓国 51億22百万円**  
FPD用部材の販売数量の減少に加え、原料である銀の市場価格が下落したことにより連動する販売価格も下落し、販売金額は前年同期を下回りました。一方で、利益率が高いPWB用部材は高機能なスマートフォン関連部材の需要が好調に推移したことにより、利益は前年同期を上回りました。

**日本 48億68百万円**  
PKG用部材等の高機能品がスマートフォン関連部材を中心に堅調に推移したため、販売数量、販売金額ともに前年同期を上回りました。

**中国 92億6百万円**  
永勝泰油墨(深圳)有限公司を連結したことに加え、PWB用部材が車載やスマートフォン関連部材を中心に好調に推移したこともあり、販売数量、販売金額ともに前年同期を上回りました。

**台湾 36億4百万円**  
永勝泰科技股份有限公司を連結したことに加え、PWB用部材がサーバー、車載、スマートフォン関連部材の需要が好調に推移したため、販売数量、販売金額ともに前年同期を上回りました。

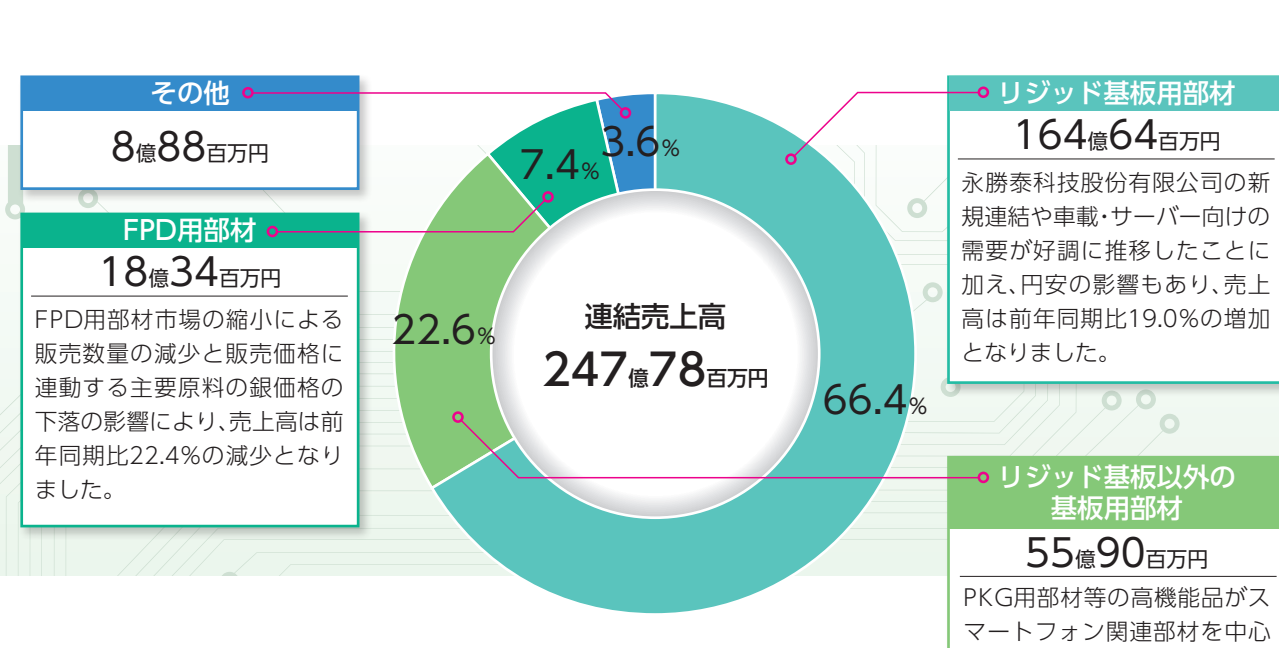
セグメント別売上高推移(連結)



(注) 売上高はセグメント間の内部売上高を除いています。

## 製商品品目別売上高の概要

Segment Review (product group)



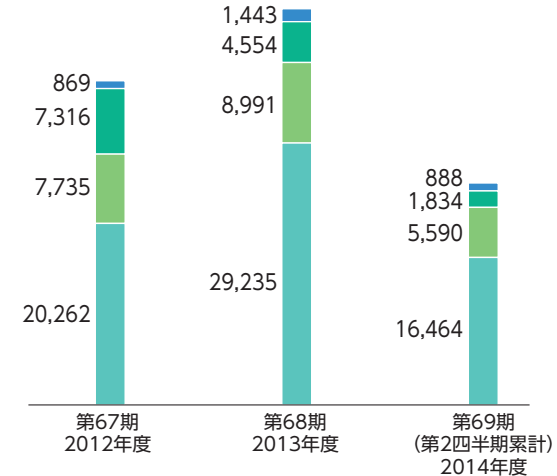
**その他 8億88百万円**

**FPD用部材 18億34百万円**  
FPD用部材市場の縮小による販売数量の減少と販売価格に連動する主要原料の銀価格の下落の影響により、売上高は前年同期比22.4%の減少となりました。

**リジッド基板用部材 164億64百万円**  
永勝泰科技股份有限公司の新規連結や車載・サーバー向けの需要が好調に推移したことに加え、円安の影響もあり、売上高は前年同期比19.0%の増加となりました。

**リジッド基板以外の基板用部材 55億90百万円**  
PKG用部材等の高機能品がスマートフォン関連部材を中心に堅調に推移したため、販売数量、販売金額ともに前年同期を上回りました。この結果、売上高は前年同期比23.7%の増加となりました。

製商品品目別売上高推移(連結)



(単位: 百万円)  
 ■ リジッド基板用部材  
 ■ リジッド基板以外の基板用部材 (PKG・フレキシブル・ビルドアップ基板用)  
 ■ FPD用部材  
 ■ その他

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成26年9月30日現在)	前期末 (平成26年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	40,546	37,798
現金及び預金	21,720	21,149
受取手形及び売掛金	13,725	11,891
たな卸資産	4,665	4,388
その他	778	642
貸倒引当金	△343	△272
固定資産	20,815	20,570
有形固定資産	14,725	14,375
建物及び構築物	7,764	7,625
その他	6,960	6,750
無形固定資産	4,878	5,144
投資その他の資産	1,211	1,050
資産合計	61,361	58,369

科 目	当第2四半期末 (平成26年9月30日現在)	前期末 (平成26年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,298	8,936
支払手形及び買掛金	6,870	5,433
賞与引当金	384	352
その他	3,043	3,150
固定負債	5,116	6,776
長期借入金	4,213	5,658
退職給付に係る負債	-	316
その他	902	801
負債合計	15,415	15,713
<b>純資産の部</b>		
株主資本	42,753	40,120
資本金	6,134	6,134
資本剰余金	7,143	7,102
利益剰余金	34,873	32,257
自己株式	△5,398	△5,373
その他の包括利益累計額	1,334	489
少数株主持分	1,857	2,045
純資産合計	45,946	42,655
負債・純資産合計	61,361	58,369

Point ① 長期借入金

前期に借り入れた長期借入金のうち一部を当期中に返済しています。

Point ② 売上高

前第1四半期連結会計期間において持分法により損益を取り込んでいた永勝泰科技股份有限公司の損益計算書を当第1四半期連結会計期間より連結しています。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
② 売上高	24,778	21,354
売上原価	15,106	13,626
売上総利益	9,671	7,727
販売費及び一般管理費	4,916	3,944
営業利益	4,755	3,783
営業外収益	149	144
営業外費用	27	64
経常利益	4,878	3,863
特別利益	157	110
特別損失	-	73
税金等調整前四半期純利益	5,035	3,900
法人税、住民税及び事業税	1,637	994
法人税等調整額	△76	283
少数株主利益	137	153
四半期純利益	3,337	2,469

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

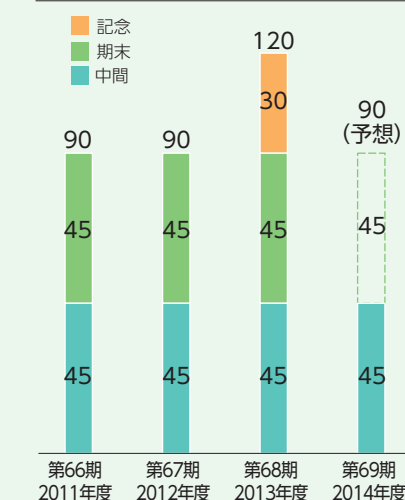
科 目	当第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,452	3,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,203	△2,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,212	4,260
現金及び現金同等物に係る換算差額	432	221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	468	4,653
現金及び現金同等物の期首残高	20,338	13,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,806	18,419

利益配分に関する基本方針

当社は現金による株主の皆様への利益還元を重要政策と位置付け、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施してまいります。純資産配当率を目標指標とし、「連結決算を基準に純資産配当率を中長期的に5%以上とすること」を目処としています。

この方針に基づき、第69期の中間配当金につきましては1株当たり45円とさせていただきます。

1株当たり配当金(単位：円)



商号 太陽ホールディングス株式会社  
 英文表記 TAIYO HOLDINGS CO., LTD.  
 設立 昭和28年9月29日  
 資本金 61億3,490万円  
 事業の内容 持株会社、グループ全体の経営方針策定および経営管理  
 事業所本 社：東京都練馬区羽沢二丁目7番1号  
 嵐山事業所：埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地  
 従業員 78名

(注) 上記従業員数の中には他社からの出向社員2名を含んでおり、関係会社への出向社員は含んでおりません。

役員

代表取締役社長	佐藤英志
常務取締役	鹿島世傑
取締役	柿沼正久
取締役	森田孝行
取締役	竹原栄治
取締役	川原敬人
社外取締役	樋爪昌之
社外監査役	堺昭人
監査役	劉時範
監査役	吉本陽臣
社外監査役	遠藤輝好

太陽ホールディングスグループ グローバルネットワーク

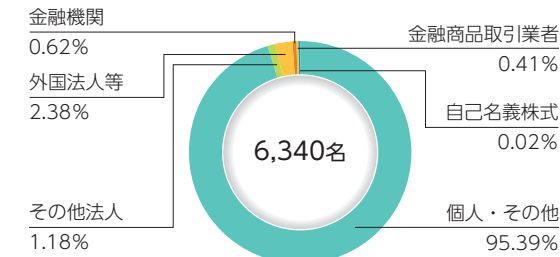


発行可能株式総数 50,100,000株  
 普通株式 50,000,000株  
 第1回A種類株式 100,000株  
 発行済株式の総数 27,464,000株  
 普通株式 27,464,000株  
 単元株式数 100株

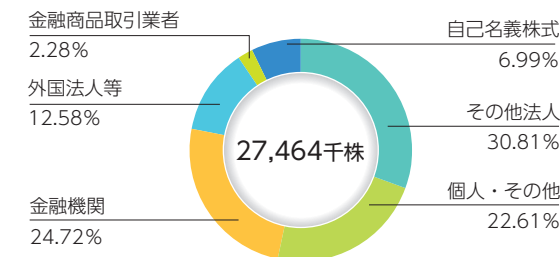
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社光和	6,554	23.86
太陽ホールディングス株式会社	1,921	6.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,486	5.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,451	5.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	1,116	4.06
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ユーエスエー)エルエルシー エスピーエルフォー イーエックスシーエルピーイーエヌ	766	2.79
四国化成工業株式会社	631	2.29
メロンバンク トリーティー クライアント オムニバス	538	1.96
東新油脂株式会社	538	1.96
川原光雄	500	1.82

所有者別株主数の構成比



所有者別所有株式数の構成比



Web Site Information <http://www.taiyo-hd.co.jp>

ホームページのご案内

当社では、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。  
 当社をご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてみてください。

